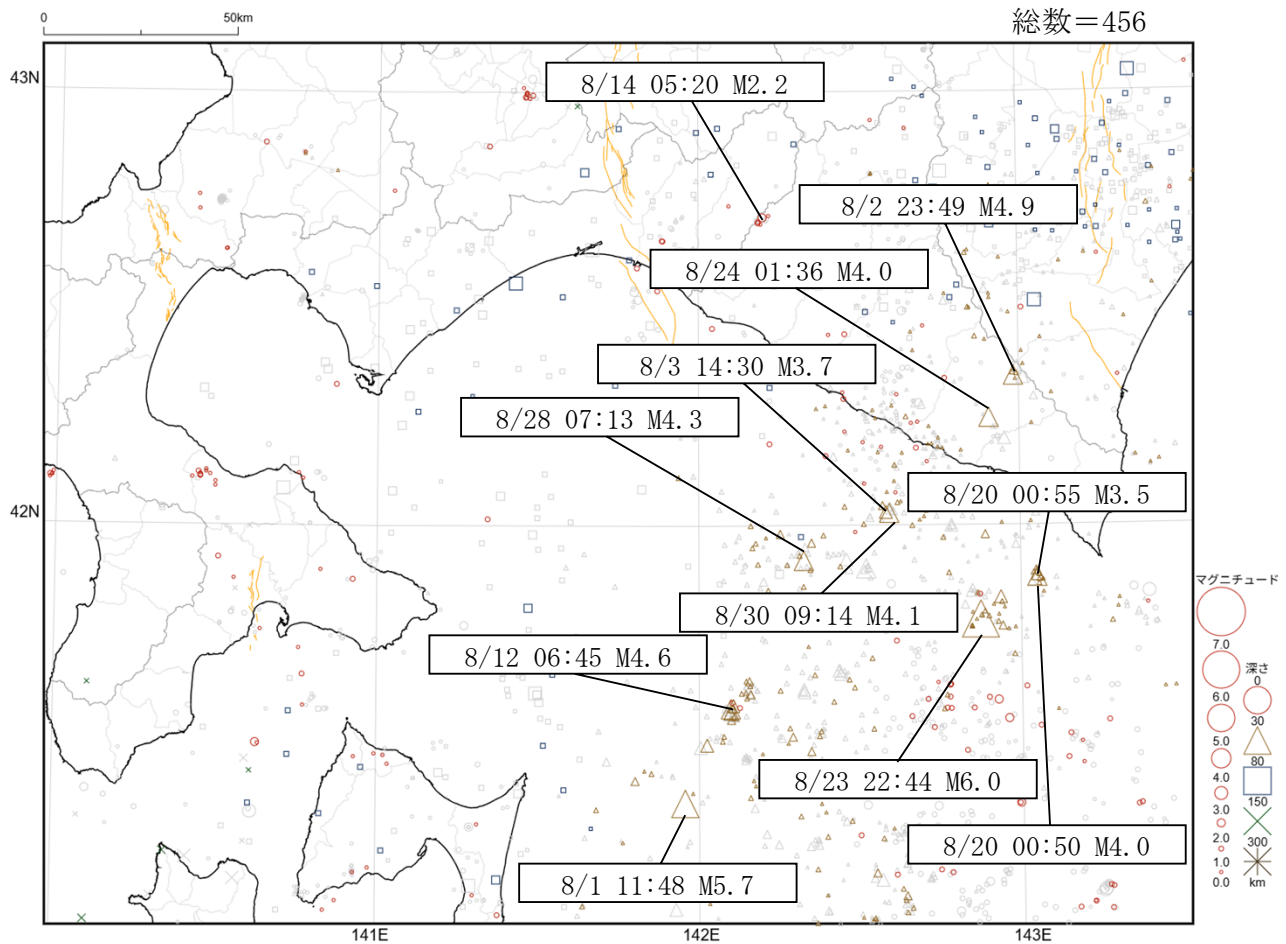


胆振・日高地方の地震活動図

2026年8月

室蘭地方気象台

震央分布図



- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政区・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

地震概況（2026年8月）

この期間、胆振・日高地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は13回（7月は5回）で主な地震は以下のとおりです（「胆振・日高地方で震度1以上を観測した地震の表」参照）。

1日11時48分、青森県東方沖の地震（M5.7、深さ73km）により、壮瞥町、室蘭市、苫小牧市、白老町、安平町、むかわ町で震度3を観測したほか、胆振・日高地方の12市町で震度2～1を観測しました。

2日23時49分、日高地方東部の地震（M4.9、深さ59km）により、新ひだか町、浦河町で震度3を観測したほか、胆振・日高地方の12市町で震度2～1を観測しました。

23日22時44分、浦河沖の地震（M6.0、深さ41km）により、浦河町、様似町、えりも町で震度4を観測したほか、胆振・日高地方の15市町で震度3～1を観測しました（別紙参照）。

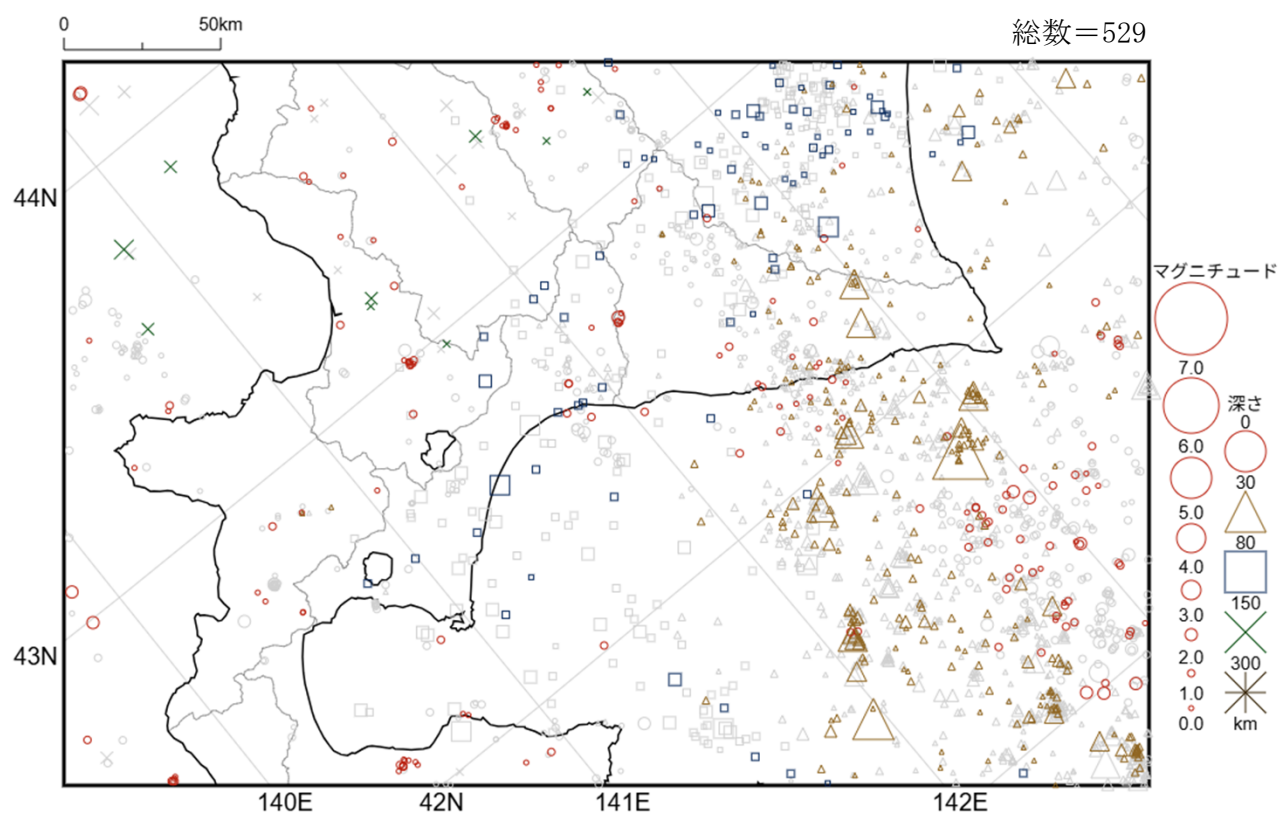
この活動図は、室蘭地方気象台のホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/muroran/>

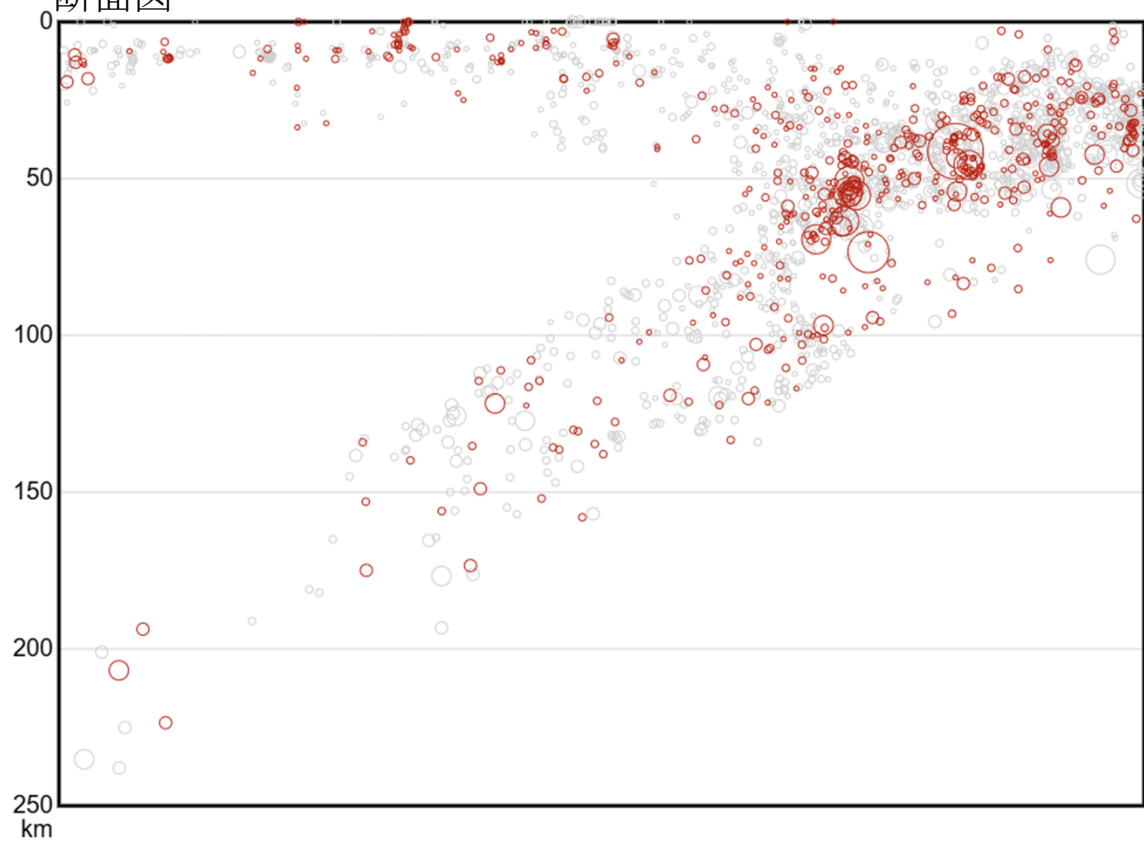
この資料に関する問い合わせ先 室蘭地方気象台 TEL 0143-22-4249

2026年8月

震央分布図



断面図

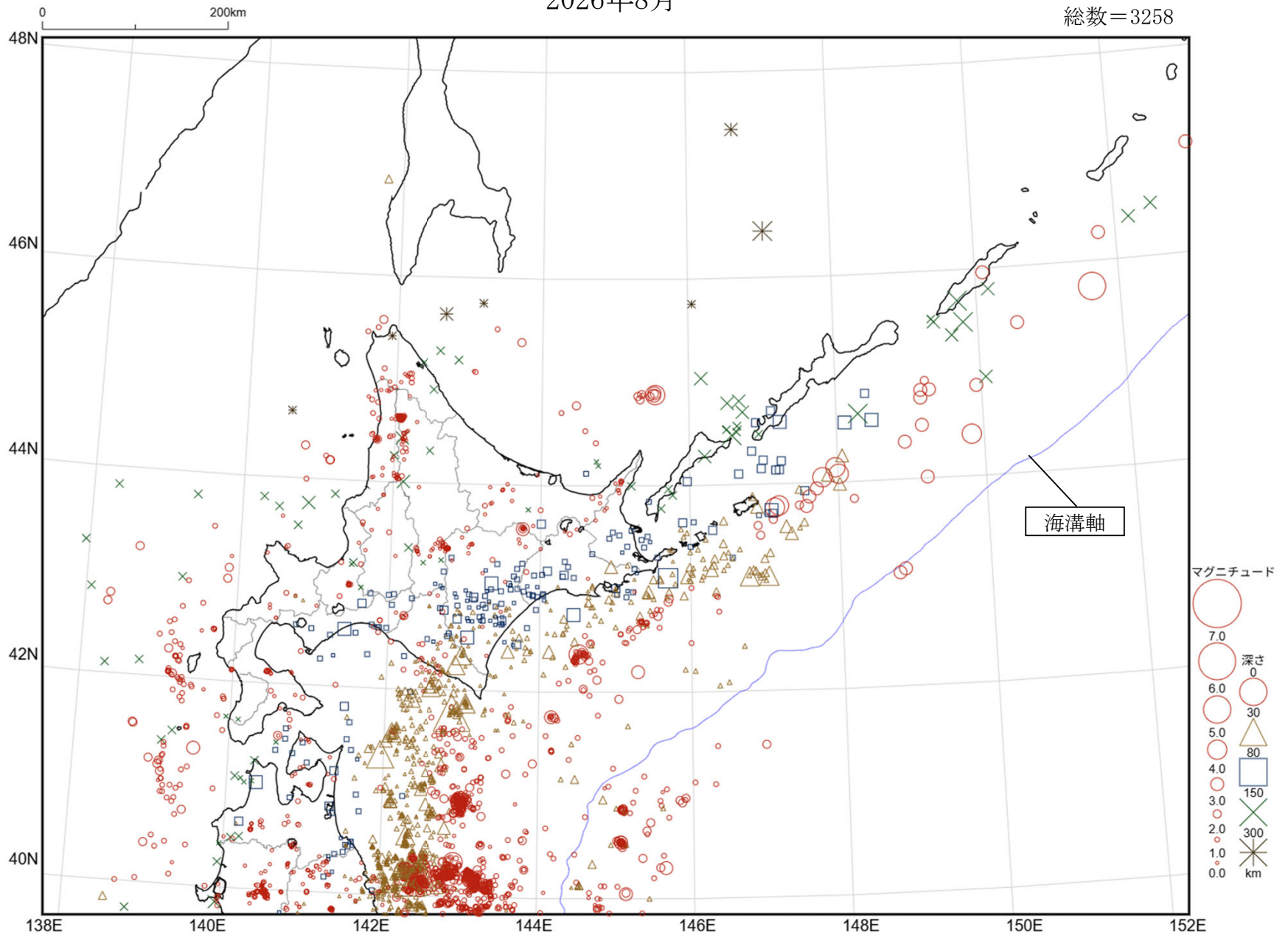


北海道の地震活動図

震央分布図

2026年8月

総数=3258



胆振・日高地方で震度1以上を観測した地震の表 (2026年8月)

	年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (k m)	規模 (M)
1	2026年 8月 1日 胆振地方	11時48分 震度3	青森県東方沖 壮瞥町滝之町*(25) 室蘭市寿町*(27) 苫小牧市旭町*(25) 白老町竹浦(30) 安平町早来北進*(25) むかわ町松風*(26)	41° 21.6' N	141° 57.3' E	73 k m	M5.7
		震度2	胆振伊達市梅本(24) 胆振伊達市末永町*(23) 胆振伊達市大滝区本町*(22) 豊浦町大岸*(19) 洞爺湖町栄町*(22) 洞爺湖町洞爺町*(22) 室蘭市山手町(18) 登別市鉾山(23) 登別市桜木町*(23) 白老町緑丘*(17) 厚真町鹿沼(24) 厚真町京町*(19) 安平町追分柏が丘*(20) むかわ町穂別*(22)				
	日高地方	震度2	日高地方日高町門別*(21) 平取町振内*(17) 新冠町北星町*(24) 新ひだか町静内山手町(22) 新ひだか町静内御園(15) 新ひだか町静内御幸町*(19) 新ひだか町三石旭町*(19) 浦河町野深(19) 浦河町潮見(24) 浦河町築地*(22) 様似町栄町*(22) えりも町えりも岬*(21)				
		震度1	日高地方日高町日高*(05) 平取町本町*(12) 新ひだか町静内農屋*(09) えりも町本町(06) えりも町目黒*(12)				
2	2026年 8月 2日 日高地方	23時49分 震度3 震度2	日高地方東部 新ひだか町静内山手町(25) 浦河町潮見(33) 浦河町築地*(31) 平取町振内*(16) 新冠町北星町*(20) 新ひだか町静内御幸町*(20) 新ひだか町三石旭町*(20) 浦河町野深(24) 様似町栄町*(23) えりも町目黒*(20) えりも町えりも岬*(22)	42° 20.6' N	142° 59.0' E	51 k m	M4.9
		震度1	日高地方日高町日高*(08) 日高地方日高町門別*(14) 平取町仁世宇(05) 平取町本町*(05) 新ひだか町静内御園(13) 新ひだか町静内農屋*(11) えりも町本町(13)				
	胆振地方	震度2	白老町竹浦(18) 厚真町鹿沼(15) 安平町早来北進*(17) むかわ町松風*(15) むかわ町穂別*(17)				
		震度1	胆振伊達市梅本(05) 胆振伊達市大滝区本町*(14) 室蘭市寿町*(13) 登別市鉾山(06) 登別市桜木町*(13) 白老町緑丘*(06) 厚真町京町*(12) 安平町追分柏が丘*(14)				
3	2026年 8月 3日 日高地方	14時30分 震度1	浦河沖 新ひだか町静内山手町(08) 新ひだか町静内御幸町*(05) 新ひだか町三石旭町*(09) 浦河町野深(05) 浦河町潮見(07) 浦河町築地*(05)	42° 01.8' N	142° 34.9' E	65 k m	M3.7
4	2026年 8月 9日 胆振地方	02時57分 震度2 震度1	岩手県沖 室蘭市寿町*(15) むかわ町松風*(15) 胆振伊達市梅本(09) 胆振伊達市大滝区本町*(05) 壮瞥町滝之町*(09) 登別市桜木町*(08) 白老町竹浦(12) 厚真町鹿沼(13) 安平町早来北進*(14) 安平町追分柏が丘*(06) むかわ町穂別*(09)	40° 07.7' N	142° 24.6' E	40 k m	M5.6
	日高地方	震度2 震度1	新冠町北星町*(18) 日高地方日高町門別*(09) 平取町振内*(08) 新ひだか町静内山手町(12) 新ひだか町静内御園(06) 新ひだか町静内御幸町*(10) 新ひだか町三石旭町*(08) 浦河町野深(07) 浦河町潮見(11) 浦河町築地*(10) 様似町栄町*(14) えりも町えりも岬*(05)				
5	2026年 8月12日 胆振地方 日高地方	06時45分 震度1 震度1	青森県東方沖 白老町竹浦(06) 厚真町鹿沼(08) 安平町早来北進*(05) むかわ町松風*(08) 日高地方日高町門別*(05) 新ひだか町静内山手町(06) 新ひだか町三石旭町*(06) 浦河町潮見(08) 浦河町築地*(05) 様似町栄町*(07) えりも町えりも岬*(12)	41° 34.6' N	142° 05.8' E	54 k m	M4.6
6	2026年 8月14日 胆振地方	05時20分 震度1	日高地方西部 むかわ町穂別*(05)	42° 42.6' N	142° 12.1' E	6 k m	M2.2
7	2026年 8月20日 日高地方	00時50分 震度3 震度2 震度1	浦河沖 浦河町潮見(26) 浦河町築地*(17) 浦河町野深(06) 様似町栄町*(12) えりも町えりも岬*(11)	41° 52.7' N	143° 03.0' E	46 k m	M4.0
8	2026年 8月20日 日高地方	00時55分 震度2 震度1	浦河沖 浦河町潮見(17) 浦河町築地*(11)	41° 53.1' N	143° 03.1' E	46 k m	M3.5
9	2026年 8月23日 日高地方	22時44分 震度4 震度3 震度2	浦河沖 浦河町野深(36) 浦河町潮見(42) 浦河町築地*(40) 様似町栄町*(44) えりも町えりも岬*(42) 平取町振内*(26) 新冠町北星町*(32) 新ひだか町静内山手町(31) 新ひだか町静内御幸町*(31) 新ひだか町三石旭町*(28) えりも町本町(30) えりも町目黒*(29)	41° 46.9' N	142° 52.4' E	41 k m	M6.0
	胆振地方	震度3 震度2	日高地方日高町日高*(20) 日高地方日高町門別*(22) 平取町仁世宇(15) 平取町本町*(15) 新ひだか町静内御園(24) 新ひだか町静内農屋*(20) 白老町竹浦(26) 厚真町鹿沼(27) 厚真町京町*(25) 安平町早来北進*(27) 安平町追分柏が丘*(26) むかわ町松風*(28) むかわ町穂別*(28) 胆振伊達市梅本(20) 胆振伊達市末永町*(19) 胆振伊達市大滝区本町*(20)				

	年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (k m)	規模 (M)
		震度 1	壮瞥町滝之町＊(17) 洞爺湖町栄町＊(16) 洞爺湖町洞爺町＊(17) 室蘭市寿町＊(23) 苫小牧市旭町＊(21) 登別市桜木町＊(21) 白老町緑丘＊(16) 豊浦町大岸＊(12) 室蘭市山手町(08) 登別市鉦山(14)				
10	2026年 8月24日 日高地方	01時36分 震度 2 震度 1	日高地方東部 浦河町潮見(15) 新ひだか町静内山手町(10) 新ひだか町静内御幸町＊(06) 新ひだか町三石旭町＊(10) 浦河町野深(09) 浦河町築地＊(13) えりも町目黒＊(07)	42° 14.8′ N	142° 54.3′ E	55 k m	M4.0
11	2026年 8月27日 胆振地方 日高地方	04時21分 震度 1 震度 1	三陸沖 厚真町鹿沼(07) 安平町早来北進＊(06) 安平町追分柏が丘＊(06) むかわ町松風＊(08) むかわ町穂別＊(05) 浦河町潮見(09) 浦河町築地＊(08) 様似町栄町＊(05) えりも町えりも岬＊(06)	38° 04.2′ N	143° 49.8′ E	28 k m	M5.8
12	2026年 8月28日 胆振地方 日高地方	07時13分 震度 2 震度 1 震度 2 震度 1	浦河沖 むかわ町松風＊(18) 胆振伊達市大滝区本町＊(08) 室蘭市寿町＊(05) 白老町竹浦(10) 厚真町鹿沼(13) 安平町早来北進＊(08) 安平町追分柏が丘＊(11) 新冠町北星町＊(16) 新ひだか町静内山手町(19) 新ひだか町静内御幸町＊(17) 新ひだか町三石旭町＊(19) 日高地方日高町門別＊(13) 平取町振内＊(06) 新ひだか町静内御園(05) 浦河町野深(09) 浦河町潮見(13) 浦河町築地＊(13) 様似町栄町＊(09) えりも町えりも岬＊(06)	41° 55.1′ N	142° 19.5′ E	69 k m	M4.3
13	2026年 8月30日 胆振地方 日高地方	09時14分 震度 1 震度 1	浦河沖 安平町追分柏が丘＊(06) 新ひだか町静内山手町(11) 新ひだか町静内御幸町＊(09) 新ひだか町三石旭町＊(08) 浦河町野深(08) 浦河町潮見(08) 浦河町築地＊(07)	42° 01.7′ N	142° 35.5′ E	64 k m	M4.1

＊のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
 () 内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

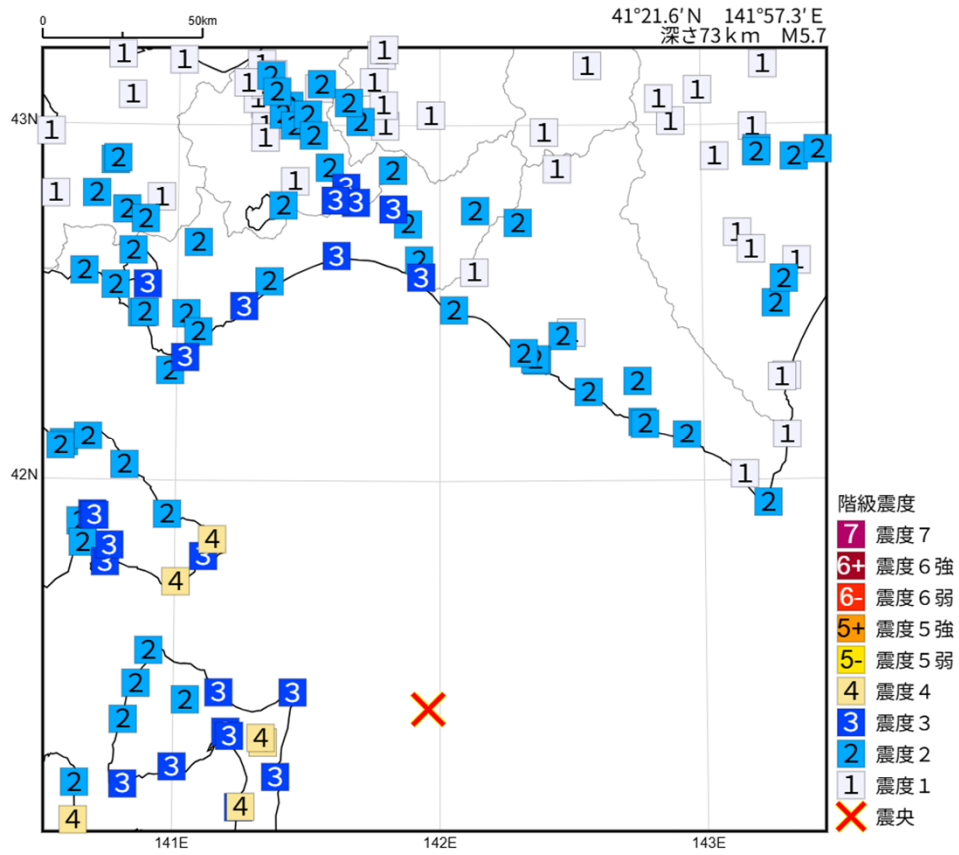
計測震度と震度階級の関係

計測震度	～0.4	0.5～1.4	1.5～2.4	2.5～3.4	3.5～4.4	4.5～4.9	5.0～5.4	5.5～5.9	6.0～6.4	6.5～
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

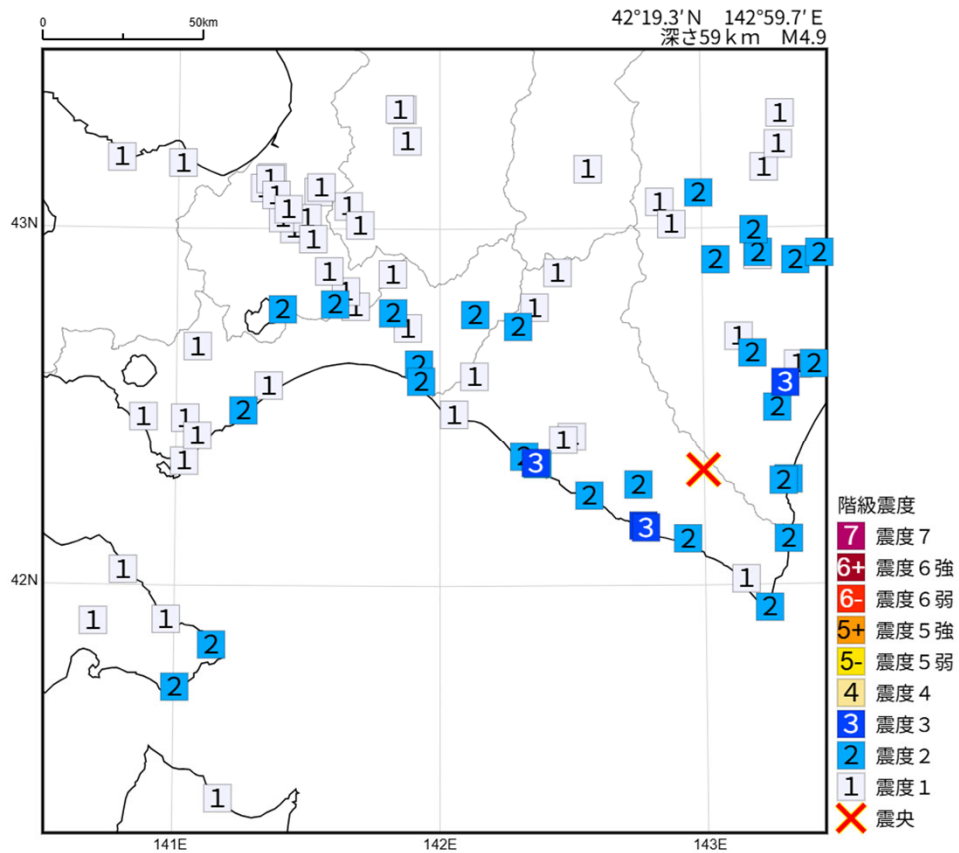
本資料の利用にあたって

- ・本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(平島、小宝島)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

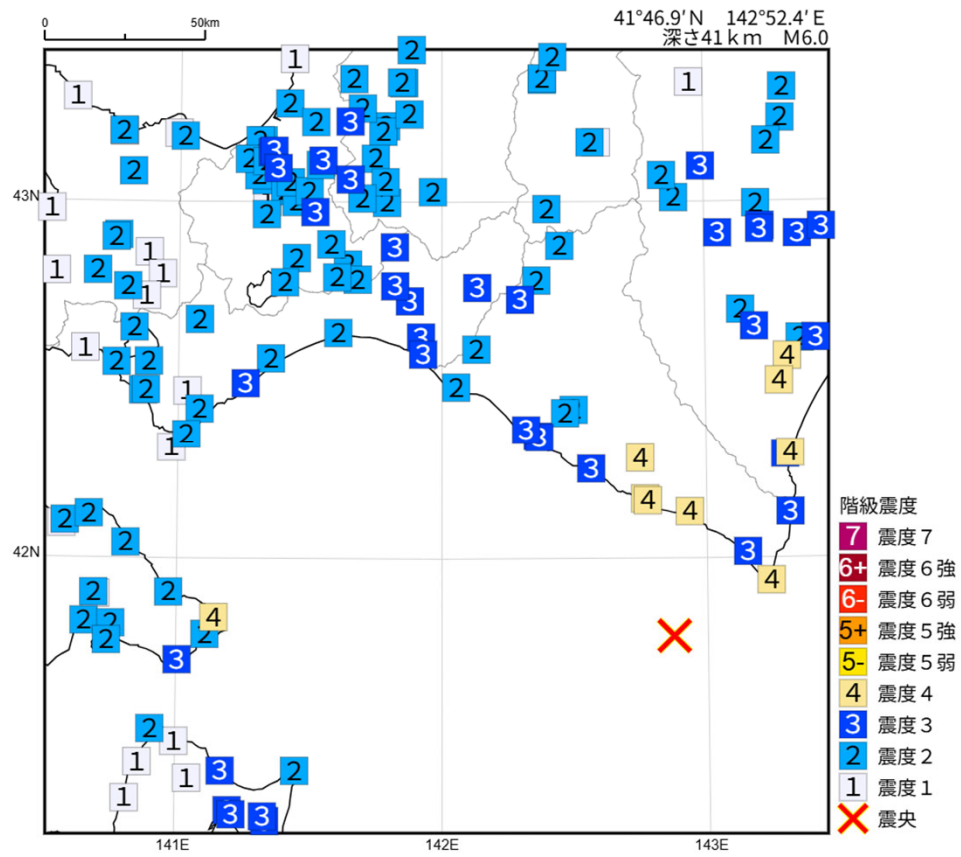
2026年 8月 1日 11時48分 青森県東方沖の地震の震度分布図



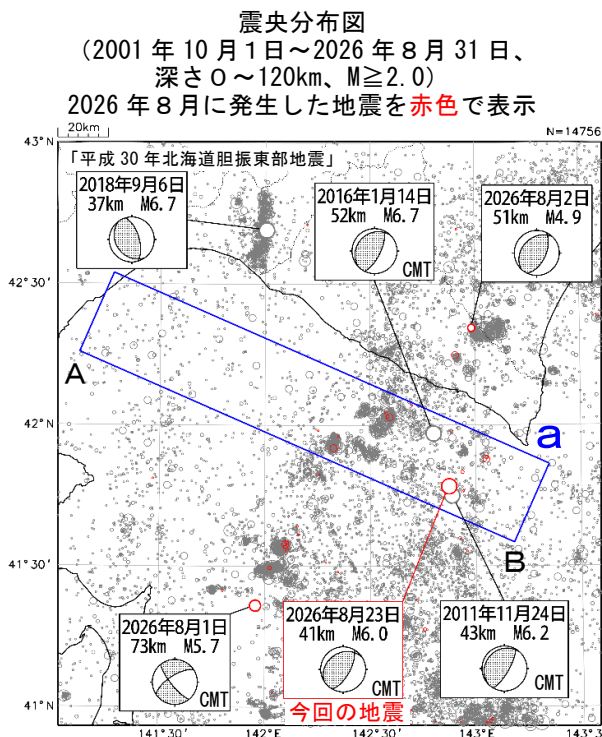
2026年 8月 2日 23時49分 日高地方東部の地震の震度分布図



2026年 8月23日 22時44分 浦河沖の地震の震度分布図



8月23日 浦河沖の地震

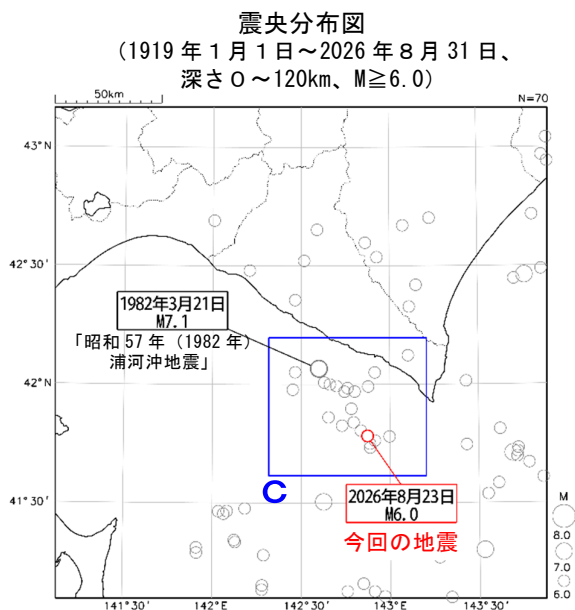
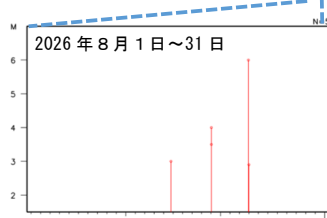
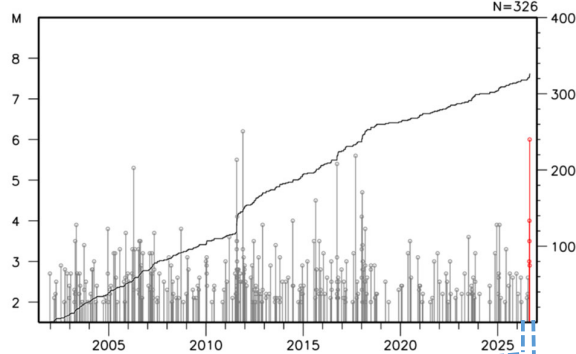
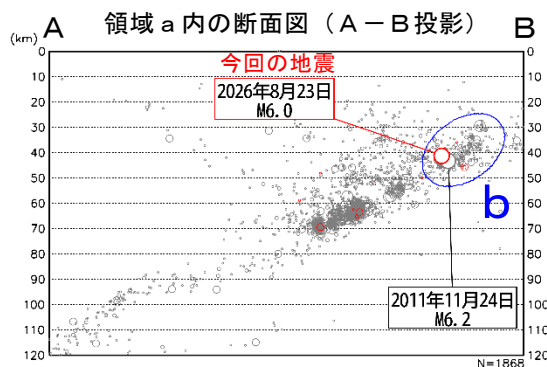


2026年8月23日22時44分に浦河沖の深さ41kmで $M6.0$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

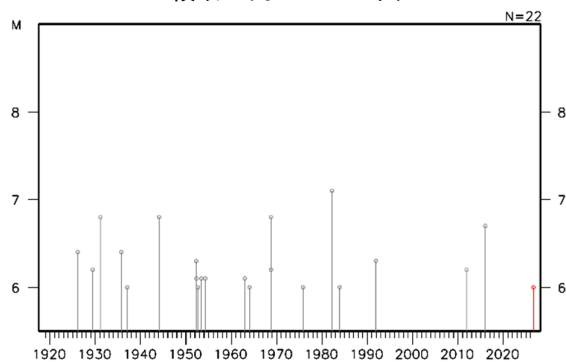
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生しており、2011年11月24日には $M6.2$ の地震（最大震度5弱）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M6.0$ 以上の地震がしばしば発生している。「昭和57年（1982年）浦河沖地震」（ $M7.1$ 、最大震度6）では、北海道浦河で78cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波など、北海道と東北地方の太平洋沿岸で津波を観測した（「験震時報第47巻」による）。また、負傷者167人、建物被害210棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



【防災メモ】

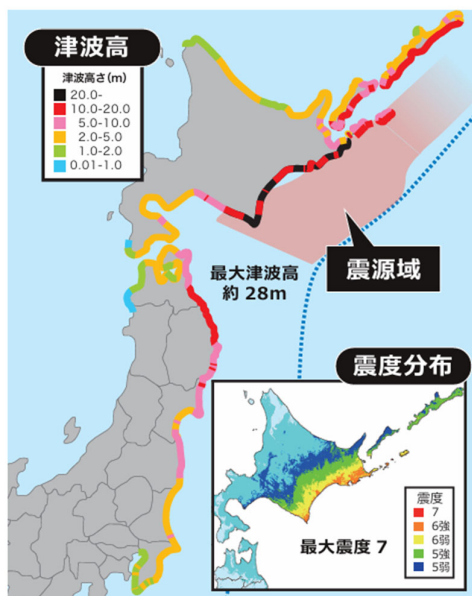
～千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震と 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」～

○千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震

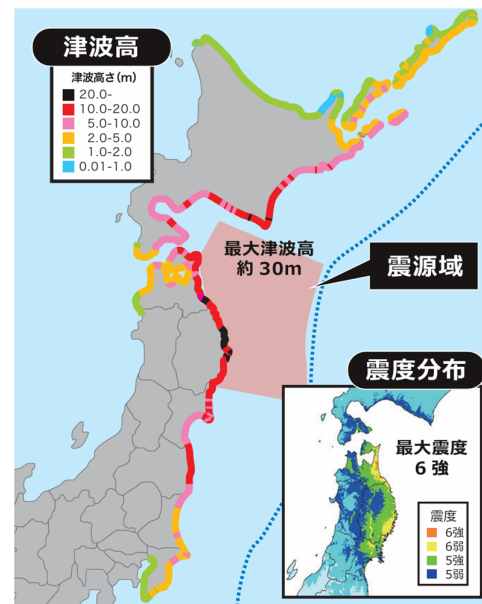
千島海溝・日本海溝沿いの領域では、過去に大きな津波を伴う巨大地震が繰り返し発生しています。津波の痕跡調査から、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の領域では、平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の大津波に匹敵する最大クラス津波を伴う巨大地震が約 300～400 年間隔で発生したとされており、17 世紀に発生した大津波からの経過時間を考えると、最大クラスの津波を伴う次の巨大地震が切迫していると考えられています。

2021 年 12 月に内閣府が公表した被害想定では、この巨大地震・大津波が発生すると、死者数は全国で最大約 19 万 9 千人と想定されています。特に冬季に発生した場合、北海道では吹雪や積雪により避難に時間を要することや、屋外や寒い屋内での避難は低体温症のリスクが生じるといった積雪寒冷地特有の課題があります。ただし、事前の備えと迅速な避難を行うことで人的被害を大きく減らすことができます。

千島海溝沿いの地震



日本海溝沿いの地震



千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震で想定される津波と震度

○北海道・三陸沖後発地震注意情報

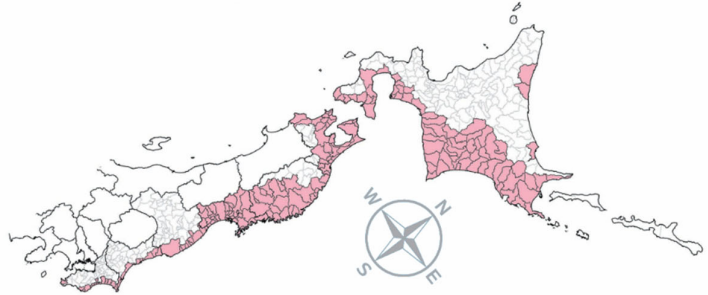
千島海溝・日本海溝沿いの領域ではモーメントマグニチュード (Mw) 7 以上の地震が発生した後、数日程度の短い期間においてさらに大きな Mw8 クラス以上の巨大地震が発生する事例が確認されています。このような事例は、世界的には 100 回に 1 回程度で、実際に発生する確率は高くありません。しかし、一人でも多くの命を守るため、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の巨大地震の想定震源域およびその周辺で Mw7 以上の地震が発生した場合に、続いて発生する巨大地震（後発地震）への注意を促す「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表します。この情報は 2022 年 12 月から運用を開始しており、これまでに、昨年 12 月の青森県東方沖の地震と今年 4 月の三陸沖の地震の発生に伴い発表されています。

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表された場合に防災対応をとるべきエリア

北海道から千葉県にかけての広い範囲に及びます。

防災対応をとるべきエリアの基本的な考え方

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上の地域
- 地震防災対策の一体性から、防災対応をとるべきと考える地域



北海道・三陸沖後発地震注意情報発表時に防災対応をとるべき地域

この情報が発表された場合、直ちに避難をする必要はありませんが、防災対応をとるべき市町村にお住まいの方は、普段の生活を続けた上で、1週間程度は地震への備えの再確認、例えば家具等の固定、備蓄品の確認、避難場所・避難経路の確認、家族等の連絡方法の確認、また、津波浸水想定域にお住まいの方は、大きな揺れを感じたり津波警報を見聞きしたりした際に、すぐ避難できるような態勢を整えておくようにしましょう。また、防災対応をとるべき地域以外であっても、強い揺れや高い津波が生じる可能性はありますので、情報が発表された際には、平時からの地震への備えを再確認するなど、個々の状況に応じて後発地震に備えた対応をとることが重要です。

巨大地震が発生した場合に、北海道から千葉県にかけての広い範囲で想定される甚大な被害に対し、1週間程度、備えの再確認や迅速な避難態勢の準備を。

枕元に靴等を置いて寝る



すぐに逃げ出せる
態勢の維持



非常持出品の
常時携帯



緊急情報の
取得体制の確保

崩れやすいブロック塀等に
近づかない



想定されるリスクから
身の安全の確保



日頃からの
備えの再確認

北海道・三陸沖後発地震注意情報発表時の防災対応

〇WEB サイト

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」(札幌管区気象台 HP)



<https://www.data.jma.go.jp/sapporo/jishin/kouhatsu.html>

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」普及啓発用動画(YouTube)



<https://youtu.be/Z3Zou0Z70V4>

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」子供向け動画(YouTube)



<https://youtu.be/ifDGXKntUik>